

応援グッズに行列 約250セット販売される



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

3月25日の13時ごろから本校の銀杏会館前で、センバツに向けて甲子園応援グッズが販売され、約120セット売れた。販売は金亀会によって行われ、今回は応援グッズの購入制限はなかった。また入場券付き甲子園応援グッズは1人2つまでで金亀会会員を対象に販売された。

平成6年度卒業生で野球部OBの山口康裕さんは応援グッズを手に入れて、「一つは子ども用にも買った。二人で応援に行くつもりだ。夏は買うのも困難だったので、買ってよかった」と喜びを話され、応援に向けて「相手は強いが頑張る一勝してほしい。応援の声が届くようにしたい」と意欲

を見せられた。

平成26年度卒業生で新聞部OBの森下俊秀さんは「センバツの応援は初めて。夏と違い出場が決まってから時間があき、夏よりも良い応援ができるはずなので楽しみだ。一度だけでなく何度も応援したい」と甲子園での応援に向けて意気込まれた。

平成26年度卒業生で新聞部OBの奥村颯太さんは応援への意気込みを「4年前の夏の甲子園では取材をしたこともある。母校なので思い入れが強い。みんな頑張ってるほしい。赤鬼魂でみんなと一緒に応援したい」と話された。

平成6年度卒業生の大家祐司さんは「夏もグッズを買っていて、今回はチケットも付くので購入した。周りがみんな同じ高校出身の人なので一つになれるのが良い」と応援の良さを述べられた。



▶応援グッズとともに応援のしおりや日刊スポーツが配布された。

▶販売開始時間よりも前から、たくさんの方が並んでいた。



村上伊都子さんは「たくさんの方がかなり前から並んでいたの、野球部がみんなから愛されていると感じた。2勝以上を目指してほしい。アルプスが真っ赤に染まる応援をしたい」と話された。

京都にいる友人に頼まれて代わりに買いに来たという岩根さんは「今回も一勝してほしい。勝ったら前回のセンバツで負けた花巻東と当たるので、勝ってほしい」と野球部の活躍に期待された。

ほかにも「夏のTシャツは持っているが、春のウィンドブレーカーは初めてなので買ってうれし」「母校が2季連続出場することは卒業生としてとてもうれしく誇りに思う。アルプスから応援しています」などの声があがった。